

・中頓別町地域おこし協力隊の活動について
<卒業後の活動実践>

健康づくり講座



○第47回健康づくり講座

講師として、有森裕子さんを招き開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、昨年度は延期となっていましたが、今年度は無事に開催できました。テーマは「よるこびを力に…」で、「自らが自らに諦めないことが健康でいられるために必要なこと」とであると話されました。



中頓別町の地域おこし協力隊の活動について

〈卒業後の活動実践〉



先月号では、地域おこし協力隊が年々増加していることや様々な世代の隊員が各地で活躍し、中頓別町においても特定の事業に地域おこし協力隊が着任し、取り組みを進めていることをお伝えしました。今月号では、中頓別町における地域おこし協力制度の運用や卒業後の活動に着目し、お伝えしていきます。

中頓別町の地域おこし協力隊の活用について

「地域おこし協力隊」とは、都市地域から過疎地域などの条件不利地域に住民票を異動し、生活の拠点を移して、おおむね1年から3年の期間で、地方自治体が様々な地域協力活動を委嘱し、その活動などを通じて、地域への課題などに取り組み、定住・定着を図る仕組みのひとつです。

地域おこし協力隊は、隊員自身のやりたいことと地域が望む

ことを行う起業型と、特定の事業に取り組むミッション型の2種類に大別されます。中頓別町には、現在、ミッション型の隊員が多くおり、先月号では、その活動の様子をお伝えしました。

中頓別町では、地域おこし協力制度を人材確保と人口減少対策として活用しています。短期的な課題解決に向けて取り組みを進めるだけでなく、隊員自らが町民の方々や町職員と異なる視点で、隊員自らが自分の想いを持ち、町の課題を解決していくことを大切にしています。そのため、中頓別町の面白さを知ってもらい、継続して住み続けられるように幅広く活動して行くことが肝要です。隊員たちが、継続して活動するため、今後、サポート体制の構築や充実に努める考えです。それでは、中頓別町の地域おこし協力隊を卒業し、現在も活躍している元隊員の活動を見て行きましょう。



北海道の自然の魅力を多くの人に伝えるために

三浦 毅

私は、平成24年8月に地域おこし協力隊として神奈川県から移住してきました。着任中は、「中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園ガイド」をしていました。中頓別鍾乳洞自然ふれあい公園に常駐し、来園者の対応や希望者には、園内のガイドを行う業務を担っていました。ガイド業務以外には、公園管理棟や遊歩道沿いの案内表示の作成・設置、来園者の方たちにアンケートを実施するなどより良い園内環境作りに努めました。鍾乳洞の冬期間閉園期間中は中頓別町役場に勤務し、それまで手付かずだった鍾乳洞のホームページやSNSを整備するなど、インターネットツールを活用し、多くの人に中頓別町や鍾乳洞のことを知ってもらえるような活動も行いました。

3年間の地域おこし協力隊任期終了後には、中頓別町役場や

なかとんべつ観光まちづくりビューローに所属し、中頓別町の観光振興に関わる業務に携わっていましたが、やはり、自らがガイドとして活動していきたいという思いが再燃し、現在は独立して、町内外でフィッシングガイドをメインとしたガイド活動を行っています。

個人ガイドとしてはまだまだ走り出しのなか、今年はコロナ渦ということもあり、思うような動きが出来なかった状況でした。そうや自然学校で行っている「森のこども園」や「ピンネっこクラブ」のサポート、町の環境調査業務に携わりながら、来年は本格的にガイド活動ができるよう準備を進めています。今後も新しい発見を求めて日々フィールドに足を運び、その魅力を多くの人に伝えられる存在となれたらと思います。



有害鳥獣の駆除から命の重みを感じる

山下 徹

私は、平成27年4月に地域おこし協力隊として中頓別町に着任し、有害鳥獣担当として、中頓別町役場産業グループに配属されました。主に、林務関係の事務やアライグマの駆除、キツネやタヌキの放獣、猟友会との連絡調整、熊が出没した際には、「クマ出沒注意」の看板の設置や近隣の町民の方々に注意喚起を行うなどの業務に従事しました。有害鳥獣の駆除は、命のやり取りを行うため、着任当初は、抵抗がありました。が、町民の生活被害を目の当たりにし、駆除

することで、町民の生活へ貢献出来ることが、次第にやりがいとなっていきました。

令和2年3月に地域おこし協力隊を卒業し、中頓別振興公社へ就職し、定住しました。振興公社での仕事内容は、地域おこし協力隊で培った知識や経験を

活かし、シカの死体の運搬、解体などを行っています。ハンターが撃ったシカをウインチで引っ張り上げ、トラックへ積み、処理場の菌床で分解を行っています。現在は、この業務を2名体制で行っており、動物の体の構造も学ぶことができます。また、解体の際には、命の重みを実感することもあります。有害鳥獣の駆除業務も中頓別町から受託し、アライグマなど外来種の駆除やキツネやタヌキなど外来種の放獣も行っていきたいです。

今後の目標は、現在の仕事を継続していくとともに中頓別町で買った家をリフォームし、自給自足の生活を送りたいと考えています。第一歩として、今年度は、ブロッコリーや枝豆、ライ麦、ジャガイモなどを植え、収穫することができました。